

口の衰えを予防しよう

～将来の認知度を向上させるために～

対象

- ・高齢者の意識を今から変えるのは困難
- ・年齢が高くなるほど歯が少なくなる



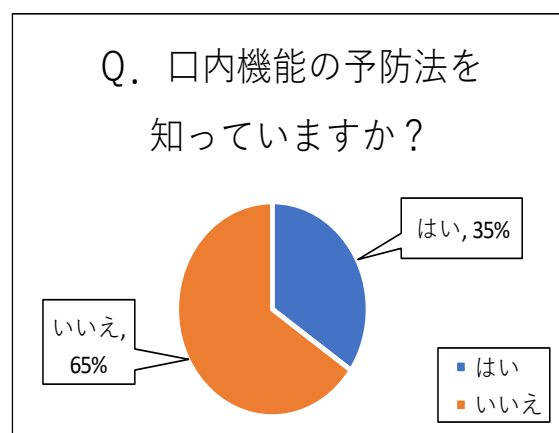
対象を**小学生**に！

利点

- ・小さい頃からの習慣は大人になっても続く
- ・将来的な認知度の向上を狙える

問題

- ・大学生28人を対象にアンケートを実施

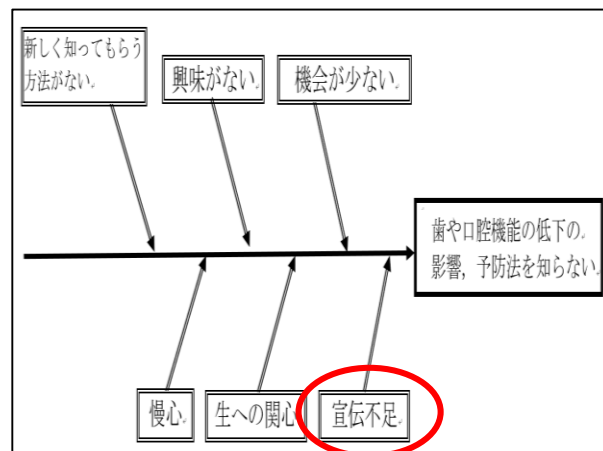


問題は…

歯や口腔機能低下の影響、予防法が知られていないこと！

課題

問題の原因分析



自分たちが具体的な解決策を出せるものとして

「宣伝不足」

を**選定**

解決のための前提条件

- ・対象を幅広くとる（誰にでも興味を持ってもらえる内容、難しさ）
- ・治療法の立案ではない（既存の運動、予防法をどう広めるか）

課題解決のコンセプト

○研究テーマの提示

- ・夏休みや春休みなどの長期休みに口や歯に関するテーマを提示し、自由研究のような形で調査
- ・調べた内容をレポートやポスターなどの形式で提出

利点

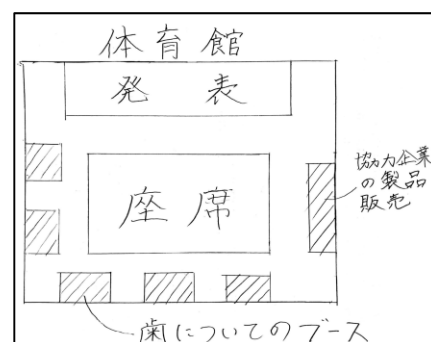
- ・能動的に口や歯について知ってもらえる
- ・調査をきっかけに興味もち、より深い知識を付ける可能性がある

○イベントの開催

- ・簡易版「かがやき発信講座」を行う
- ・企業と連携し口内ケア製品の販売
- ・「研究テーマの提示」で児童が作成したポスターなどを掲示するブースを設ける

利点

- ・子供の成果物を身に来る親や、地域の人にも伝えることができる
- ・楽しく学ぶことができる



見込める効果

- ・どちらも記憶に残り、忘れにくい
- ・子供から親に伝わり、家庭内の意識改善
- ・将来的な歯や口に関する認知度の向上

2019年度 プロジェクトデザインⅡ

テーマ：お口の衰えを予防しよう

クラス・チーム：EM403-2

メンバー：帆足玲央、宮下尚翔、山田隆希、石原優祐、大迫恵悟、金坂浩佑

担当教員：石橋 孝一 先生